

# The Together Story



一緒に物語  
パンデミックについての子供のための物語  
本文と挿絵 Roxana Oroian



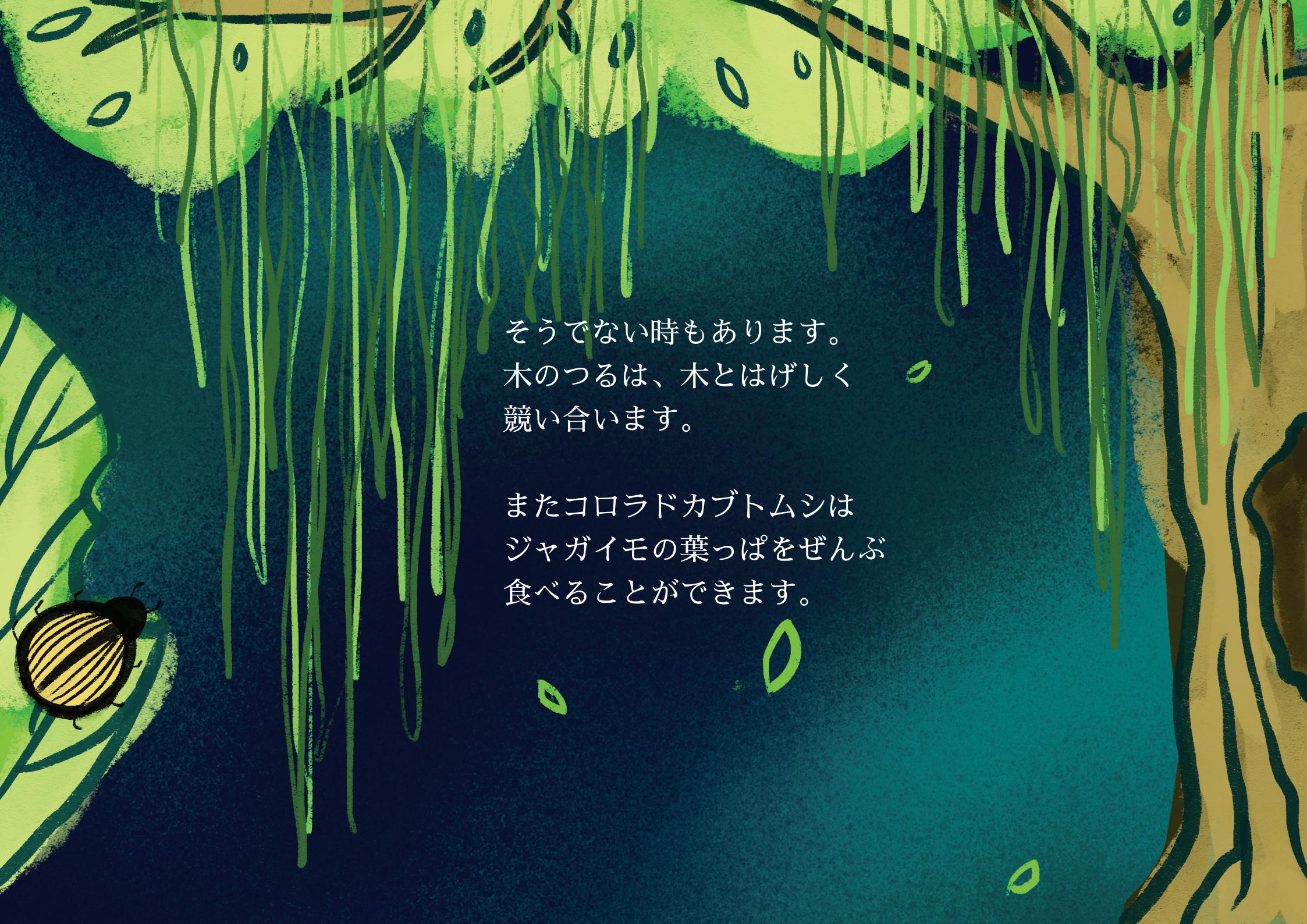
太陽から三番目にある地球には  
たくさんの生き物が住んでいます。

それは、大きなものから小さな  
ものまで無限の世界です。

ときどき これらの生き物たち  
は、一緒にうまく共存します。  
たとえば蜂と花。

または、カクレクマノミと  
イソギンチャク。





そうでない時もあります。  
木のつるは、木とはげしく  
競い合います。

またコロラドカブトムシは  
ジャガイモの葉っぱをぜんぶ  
食べることができます。



人間は、人間の行いによって絶滅した動物たちとうまく共存できなかったのです。  
クロサイやピンクゾウガメのように。





ときどき一緒にうまく共存できない  
動物たちは、同じような大きさです。  
たとえば、ガゼルとライオンように。



ほかにもひとつの生き物が  
もうひとつの生き物よりも  
ずっとずっと大きいことも  
あります。

たとえば、君と蚊をくらべて  
ごらんなさい。

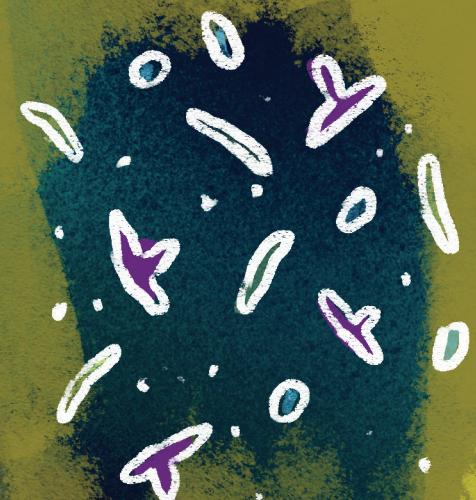


今 世界では、小さすぎて生き物と呼べない生き物たちがいます。

かれらの姿は、顕微鏡でしか見ることができません。  
かれらは小さいけれども、ずっとずっと大きな生き物を脅かしています。  
それらは私たちにとっての大きなもの、汚染された海の大きさと同じようです。  
ほかにも破壊されたオゾン層や極氷冠の溶けだしなどのように。

すべては、見事にこの地球と言う惑星でつながっています。  
太陽から三番目にある地球には、たくさん生き物が住んでいます。

ときどき  
これらの 顕微鏡でしか  
見えない生き物たちは、  
他のもっと  
大きなものの中に入  
ることができます。  
蚊の例を考えて  
みてごらん。  
間違って君に  
かみつかない  
限り君の体の  
中に入らないでしょ。



でも  
ウイルスは、  
顕微鏡なしでは、  
けっして見ることができない、  
とても 小さいもので  
簡単に人間の体の中に  
入ってきます。  
多くの 顕微鏡的生命体は、  
微生物と呼ばれ、私たちの体の  
中に入ってきます。  
それらのほとんどは、体の中で  
うまく健康を助けてくれます。

でも、そうではない時もあります。

そして、それが今みんなが家にずっといなければならぬ理由です。

今 新しいとても小さな目に見えないウイルスが人間を病氣にしています。

初めて出会うウイルスです。

私たち人間は、それについて学び始めたところです。



今、もし人がたくさん集まる賑やかな場所にいたら、皆が話しているコロナウイルスと言う小さい生き物たちは「コロナだよ、コロナだよ。」と言って、私たちの体に入ってくるかもしれないです。

私たちの鼻や口を通って、だれにもどうやってかわからぬようにです。でもきっとそうでしょう。



大きな生き物もいれば、とてもとても  
小さな生き物がいることをおぼえて  
おいてね。

大きさは、関係ないのです。なぜなら  
いくつかの生き物たちは、一緒にうまく  
共存できません。

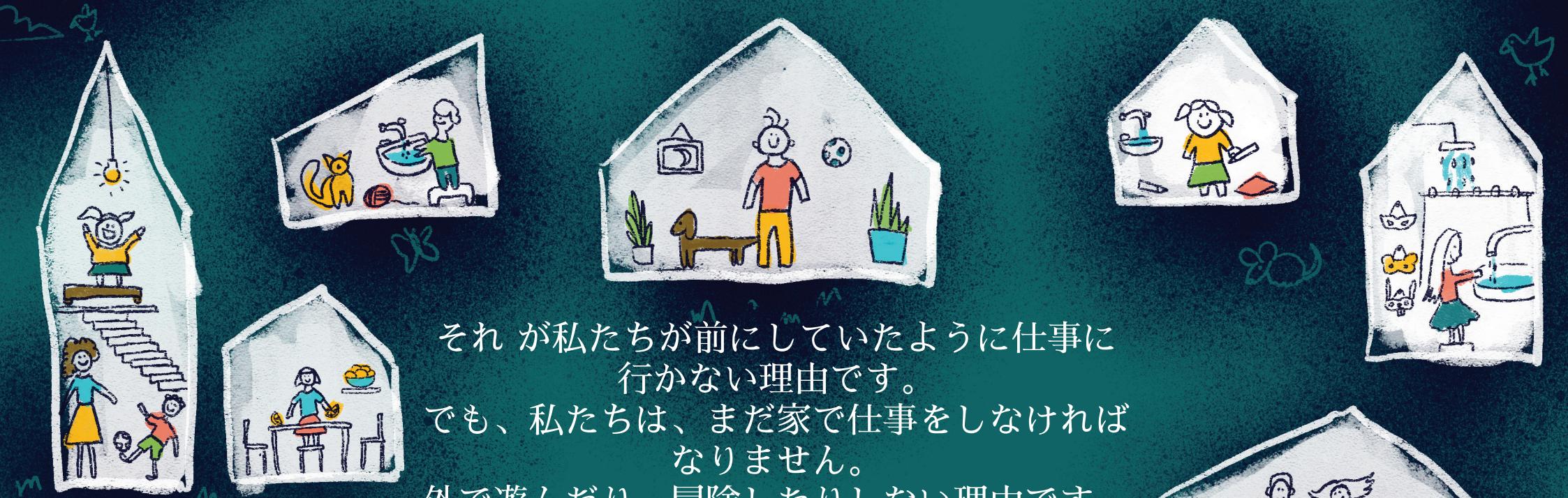
だから今、私たちは、よく手を  
洗わなければなりません。

そうすれば小さいものたちは、洗い  
流されて、消えてしまいます。それは私  
たちが、安全な暮らしをするためです。

私たち、みんな、一緒に安全に  
暮らしたいです。  
君とママとパパも。

君は、若くて、  
とても強いです。  
君は、今、みんなが  
話しているそれらの  
小さなもののたちより  
ずっと強いです。  
でも おじいちゃんは、強く  
ないかもしれません。体は  
もっと大きいんだけれど。  
これが最近、おじいちゃんと  
おばあちゃんに 繁繁に会いに  
行けない理由です。たとえ  
私たちが家に行って、手を  
よく洗っていても、  
みんなが今、話している  
それらの 小さいものたちは、  
それでも私たちの周りに  
います。もちろん私たちは、  
それらがおじいちゃんと  
おばあちゃんの体に入つて  
ほしくないです。

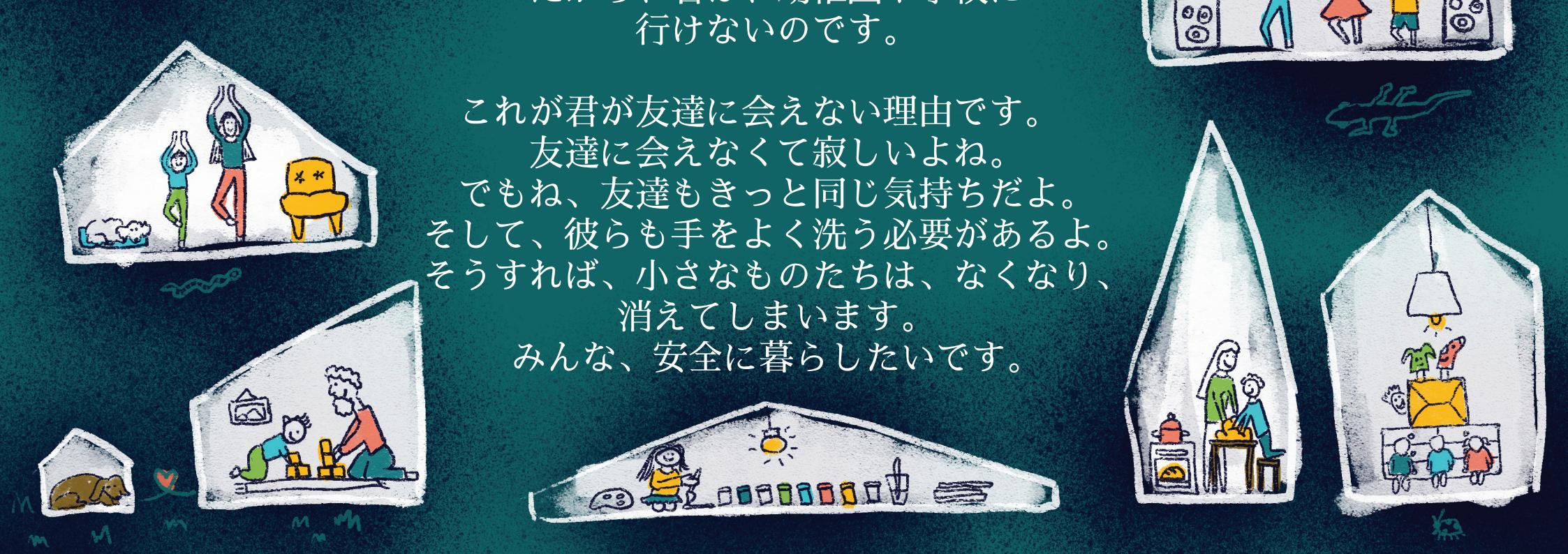




それが私たちが前にしていたように仕事に行かない理由です。

でも、私たちは、まだ家で仕事をしなければなりません。

外で遊んだり、冒険したりしない理由です。  
だから、君は、幼稚園や学校に行けないのです。



これが君が友達に会えない理由です。  
友達に会えなくて寂しいよね。

でもね、友達もきっと同じ気持ちだよ。  
そして、彼らも手をよく洗う必要があるよ。  
そうすれば、小さなもののたちは、なくなり、  
消えてしまいます。

みんな、安全に暮らしたいです。



私たちは、すべて一緒に、一緒に、別々に  
安全に暮らしたいです。

みんなが話しているそれらの小さなものたちは、そんなに悪くないです。

かれらは、私たち人間と一緒にうまくやっていけないだけなんです。

私たち人間がときどき地球上の他の生き物たちに害を加えたとしても、そんなに悪くない  
です。オゾン層や海水や絶滅危惧種などです。

私たちは、今は、離れていますが、でも後から、一緒に楽しむことが出来ます。  
地球上での生活を楽しみましょう。



太陽から三番目にある、  
地球には、たくさんの  
生き物が住んでいます。  
それは、大きなものから  
小さなものまで 無限の  
世界です。  
私たちは、お互いに  
学びます。  
毎日、みんな一緒に。

その小さな生き物たち  
が、人間を病氣にすること  
をやめる時に、私たちは  
成長をするはずでしょう。  
私たちは、もっとうまく。  
私たちは、もっとよく  
対処できるようにな  
るでしょう。  
私たちのために。  
この地球のために。  
みんな一緒に。

でも今は、私たちは、安全  
に過ごす必要があります。  
家の中で。

私たちは、手をよく洗う  
必要があります。  
手をよくあらってくれて  
ありがとう。  
一緒に。



## いくつか付け加えたいことがら

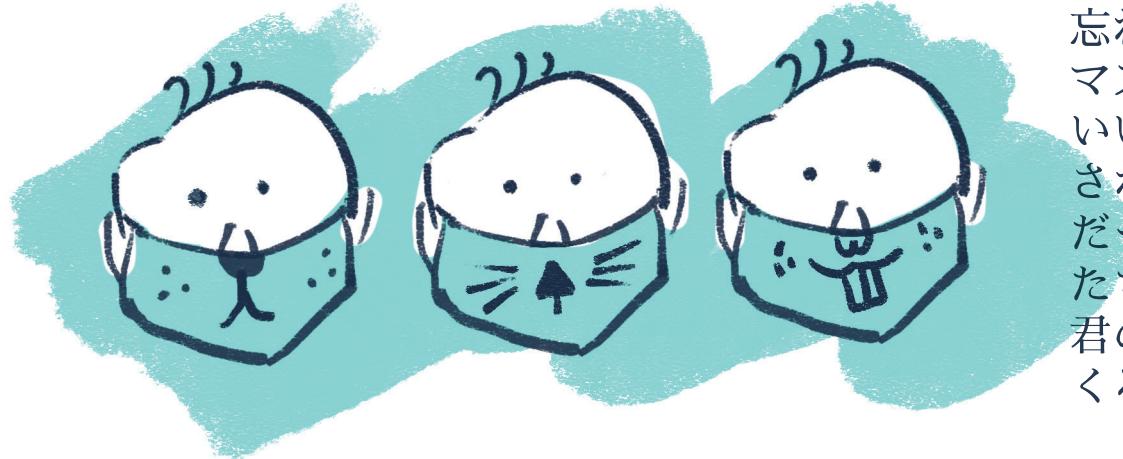


君のペットたちは、みんなが話している小さいものたちとは、大丈夫。手足を洗わなくとも大丈夫です。

まだ食べ物を買いに行くか犬の散歩をするために出かけることが必要な時に、「見て、何もさわっていないよ。」っていうゲームをパパとしてごらん。あつ、ちょっと待ってでも犬はさわっていいよ。



マスクをつける時に、熊やねこやうさぎになつたつもりでママとどんな動物にならうかをあてるゲームをしてみよう。さあ、ペンをとって。



忘れないで。君は、マスクはさわってもいいけど、顔はさわっちゃダメだよ。だってあの小さなたちが鼻と目と口から君の体にはいってくるから。



作者から大人たちと保護者のみな様へのメッセージ:  
あなたの子供たちとあなたの家庭がこれからもずっと健康で幸せでありますように。

この本の編集者のKate Rudkinさんに心より感謝します。

日本語訳 Megumi Fujimoto と Ioana Fagarasan

編集 Livia Luca-Pozner

本書の原文と挿絵は作者に属です。  
Copyright Roxana Oroian © All rights reserved 2020





roxana  
osoiu